

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2025年3月1日 258号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

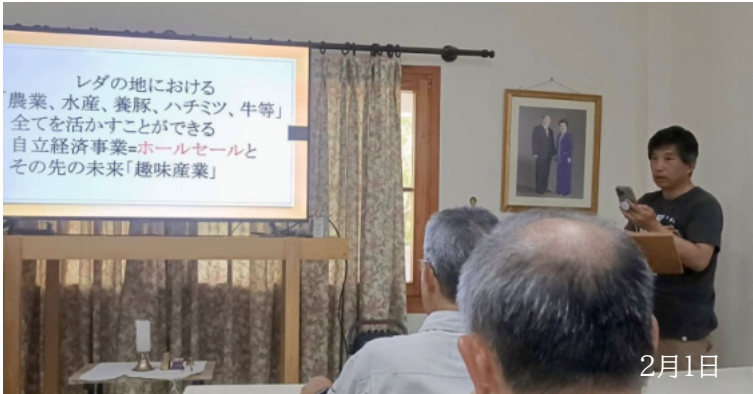
レダプロジェクト+経営のプロ 西永氏・水田氏



●パイア・ネグラからレダに向かう西永氏(左)と水田氏。1月30日

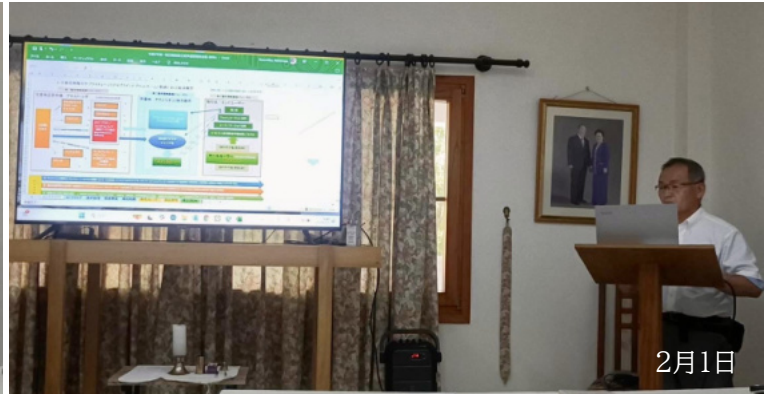


●空軍機でパイア・ネグラの飛行場に降り立ちました。1月30日



2月1日

●同じく自立経済の取り組みと未来の趣味産業をプレゼンする水田氏。



2月1日

●自立経済の基盤構築、事業化戦略等をプレゼンする西永氏。

レダを自立経済へ

去る1月、二人のミドル世代の方がレダを訪れました。西永氏と水田氏です。レダのために色々動いてくださっているお二人が、レダのこれからについて語ってくださいました。その内容の一部を共有したいと思います。

西永豊光氏

★**自立経済事業に向けてのロードマップ作成** 私が目陽園に来るのは3回目です。その前の第一回・二回は、パラグアイの養殖生産業者と、販売市場と、生産地の市場を視察することに加え、将来のレダ事業の可能性を探ってまいりました。

私が初めてパラグアイと日陽園を訪ねをしたおり、この地(日陽園)の自立経済のモデル設計は、未来のビジョンが開けるものとならなければならぬと、瞬時に見て分かりました。

そこで、自立経済のビジネスモデルを設計していくにあたり、その達成項目管理のために運営開発会議を発足させました。ロードマップは人材育成(Road Job training)なども含んでおり、目標の達成へとプロジェクトチームを導いていくの必要となります。

★**自立経済の基盤構築へ** 現在、5か年計画によって自立経済の基盤を打ち立てようとしています。現在のレダの様々な課題を分析し、ビジネスモデルの骨子を

を作りますが、その後で非常に重要になってくるのが「基盤構築」というところになります。

日陽園には、提唱者文鮮明先生ご夫妻の願いを託された先輩の方々、25年間にわたる活動で築かれた基盤があります。その基盤に、昨今ロジスティクスを活用した自立経済という考え方が入ってきました。生産と消費者をロジスティクスでつなげ、そこにプラットフォームを形成させたビジネスが、ホールセラー事業となります。これを軸に事業化戦略を考えていく必要があります。

これらを動かしていくための考え方を持たないと、持続可能な社会的基盤を形成するのは非常に難しくなります。その燃料の役割を果たすのが資産や資本です。これを備えて、法制度のハードルを行政機関との関わりあいの中で、しっかりと乗り越えていかなければなりません。これらはすべて、自立経済には必要となります。

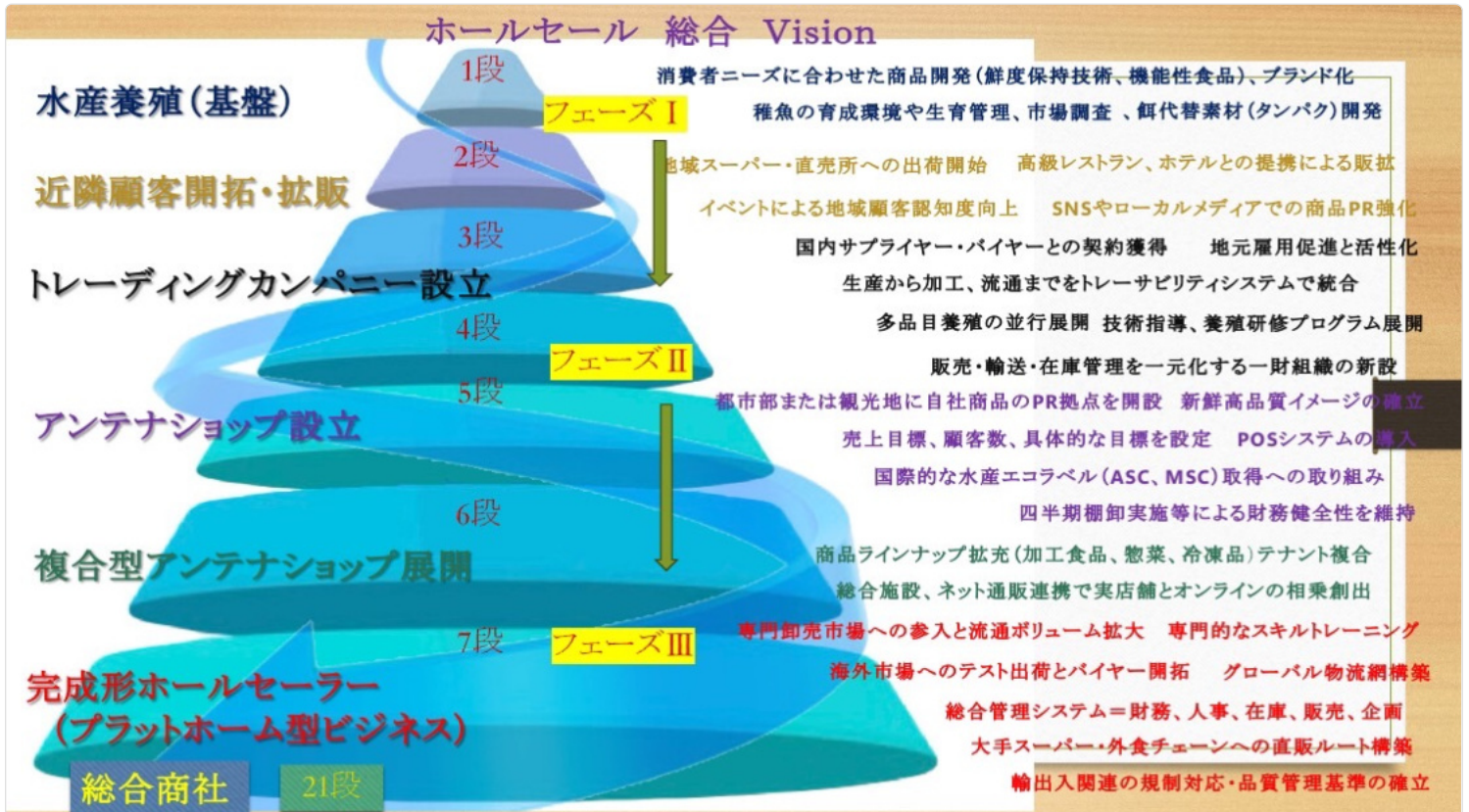
★**日陽園に隠された提唱者の心情と戦略を見る** 日陽園は本当に神の理想郷を建設するのに適しているのです。文先生の軌跡を追求してみると、これまで摂理的に購入された物件は、概ね生産地が多くを占めています。それは人間社会にとって必要不可欠なものです。分かりやすい話ですと、「第一次産業がなければ二次も三次もあり得ない」となります。(次面につづく)



●夜明けの空は珠玉の輝き。1月11日



●日陽園タンク(給水塔)にかかる虹。右は浄水施設。2月4日



自立経済へ(一面よりつづく)

そういうところで福地創建構想には、文先生の戦略が隠されているように思われます。その内的な心情に外的な基準を組み込んでいったのがこの日陽園の自立経済の発足になります。

この事業に取り掛かるほど、色々と文ご夫妻の心情圏がどこにどう組み込まれているのか、明確に解ってくるかと思えます。それと同時に、文先生の軌跡は第一次産業の重要性が色濃く出ています。

文先生は生涯、海洋摂理に力を注がれましたが、それを經由して日陽園というエデンの園のモデル地があるのだと思います。

水田錦吉氏(当法人理事)

★自立経済移行は待ったなし

レダは、パラグアイの現地法人である南北米福地開発財団(FIDASANS)として活動しています。主要な支援は、南北米福地開発協会から受けて運営しています。昨今、日本の諸問題もありレダの資金繰りも困難な状況になっています。自らパラグアイで経済を運営していく形を確立しなければならぬ段階に入って久しくなっていますが、今年はその意味が正念場の状況です。

★ホールセール このような中、どのように事業を確立して

いくべきかという課題と向き合っている、今、西永氏を中心にホールセール事業を進めようとしています。今までのレダで生産された全てを包括して活かせる事業が前提となっています。

★趣味産業へ その次のステップとして趣味産業、趣味生活になってくると認識しています。

私は実際に二世を中心として活かす事業を行いました。特に男性の二世が一般の企業に就職すると、なかなか教会に来れなかったり、研修会等にも参加できなかったりするためにも、今回の事業は二世を中心とした趣味産業という方向性で行いました。

最終的に私たちは、得意なこと、好きなこと、自分自身の成果追求に没頭して、そして人のために生きながら楽しく文化生活を築き上げる、そんな趣味産業を理想とした事業です。

★二世圏の高ポテンシャル

家族団欒で完結型のリゾートを一世と二世だけで構築しました。私自身はそこにコンサルという立場で参加しました。カフェのメニューは、ほぼ二世たちが考えました。彼らはすごくポテンシャルが高いですね。あつという間に意見を出し合って作り上げます。(三面につづく)



●チャパボラの柳谷君(中)が10か月余りの奉仕活動を終えて帰国の途に。1月30日



●加藤君(左)が帰国の途に。1月24日



●4月には待望の第1子が誕生予定。



●川久保夫妻と滝川夫妻。2月1日



●島田家がパロサントの工芸品工房を訪問。1月10日

自立経済へ(二面よりつづく)
またコロナで実現しませんでした。自分たちでルアーを作ろうとしてもしていました。こうした観光に特化した事業は、パラグアイにおいても同じようにできる素材が十分に揃っていると思います。(こまで水田氏)

●西永氏はこれからのレダの方向を具体的に、水田氏はさらにその先の未来の話を希望的な内容を込めて語ってくださいました。こうした経験を豊富にそなえたミドル世代の方々が、今レダで歩んでいる山崎氏を含め、三人そろった現状にとっても頼もしさを感じることができた、今回のお二人のレダ訪問でした。
(チャパボラ4期生 坂西)

新任チャパボラに聞く
1月22日、新たに二人のチャパボラ生、NさんとSさんが元氣よくレダに到着。二人とも女性です。坂西君がインタビューしました。

Q なぜレダに来ようと思ったか、その動機を教えてください。
N 高校生の時に親からレダの話聞いて、元々海外に行きたい想いもあって希望しました。また文先生夫妻が開拓された南米の土地であり、世界平和地球村のモデルをつくるというビジョンに惹かれました。
S 元々海外でのボランティアに



新任チャパボラ生たちを歓迎する夕べ。1月22日

興味がありました。また親がパンタナール通信を見て知っている法人の内容なら安心できると思、最後は直感に従ってきました。
Q、レダに来ての印象はどのようなものでしたか？
N 写真や映像で見ていた内容と同じで、思っていた通りだなと思いました。あとは先輩の先生方と触れ合えるのが新鮮で、その人たちの歩む姿勢などを聞き、とても



Nさんもドラドを釣りしました！



Sさんもドラドを釣りました！

も若いなと思いました。
S 理想と現実の差を感じました。言われてきること、成されてきてること、色々妄想してたけど、実際に来てみたら問題点とか改善点を際立って感じました。チャマココの人たちとの文化的壁のような、特に心情文化の面でそのように感じました。
Q、レダでやってみたいことはありますか？
N 今はあまり考えることができていないですけど、少しでも貢献したいと思っています。北中先生のニーム作りは少し覗いてみたいと思っています。
S 出来る限り自然を探索して生き物などを楽しみたいです。あとはチャマココの人たちとものと和動して、心情的に近くなれるような取り組みをしたいです。
Q、これからの意気込みをお願いします。
N 神様と提唱者文先生ご夫妻の心情を感じたいのと、開拓精神を養っていききたいです。
S 養豚の飼料改善、環境を変える、目に見える地図など、何かしらで一つ足跡を残したいです。



ジェネレータのトラブル

昨年の3月に満を持して導入されたジェネレータ（レダ基地全域に電力を送る大型発電機）ですが、一年を経ずして、冷却水が漏れるというトラブルが発生いたしました。

雨季はAND田（電力公社）の電力も不安定になり、ジェネレータを使用する時間も自ずと増えてきます。そんな中での冷却水トラブルでした。私は電気屋さんなので、エンジン回りのトラブルには対応できません。従って、機械屋さんのパブロさん頼りになります。

はじめ、冷却水のホースが破れたことが原因と判断されましたが、結局冷却水を循環させるポンプが原因だったということで、部品の入手も含めて合計10日ほどかかりました。むしろパブロさんのおかげで10日ほどで修理できたという感じです。

パブロさんがおられなければ、業者を呼んで故障部位の特定から部材の入手および、取り換えで何か月かかったかわかりません。また、それにかかる費用も何倍もかかったと思われます。

パブロさんに感謝するとともに、やはりあと一人はエンジニアに必要と思わされるひと材が必要と思わされるひと時でした。（山崎茂章）



ジェネレータの冷却水が漏れた様子

ショート動画のコーナー

1. 走る、走る、アメリカレア.....1月11日
2. パラグアイダンス軽やかに.....1月22日
3. アラポラン社チョリソ試食販売...1月25日
4. 牛肉を捌くチャパボラ.....1月31日



感想をお寄せください

<https://asd-nsa.com/kf/>

上記URL、または下記QRコードから、本紙記事へのご感想、ご意見、提案などをお送りいただけます。ご感想は本紙に掲載させていただきます。



パンタナール通信PDF版

本紙は、紙媒体に代えて、PDFによる配信もできます。希望される方は、左記の感想フォームに会員番号、メールアドレスを記入し、「PDF希望」と書いてお申し込みください。



一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘

2-15-1 ビリアベルデ 407

電話：042-449-0183

支援金振込口座：ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール:office@asd-nsa.com

ホームページ:https://asd-nsa.com

パンフレット：当会の紹介と入会申込書
<https://asd-nsa.com/sk/>

パンタナール通信を 直接お届けします

パンタナール通信



パンタナール通信は当会の会報です。会員の皆様には毎月郵送・PDFでお届けしています。南米レダの活動現場から来る、生の姿をご覧ください。入会申込書は左下のURL、右のQRコードから。



LINE公式アカウント

レダの日常・日本の非日常

レダのことをもっと知りたいあなたに！

レダプロジェクト LINE公式アカウント「レダの日常・日本の非日常」への友だち追加をお奨めします。

レダ現地の様子、プログラム・イベントの告知・参加者募集案内、などが、素早く配信されます。レダに滞在していなくても参加（お手伝いを含む）できるプログラムやイベントもたくさんあります。



友だち追加はこちらから！